



スキー研修

一月二十八日〜三十日にかけて、豊山中学校一年生が、長野県の治部坂高原スキー場で、スキー研修を体験しました。この事業は、今年で九回目になり、毎年一年生が参加しています。

研修では多くのインストラクターの方達が関わってくださるので、生徒達は、手取り足取り教えてもらうことができます。ほとんどの生徒は初心者ですが、三日間で上手にすべることができるようになります。今年も最初雪の上を歩くのを怖がっていた生徒が、研修によりスキーの楽しさを味わえるようになりました。三日間天候に恵まれ、スキーを堪能した生徒達からは、「またスキーをしに来たい」「とても楽しい三日間だった」との声が聞かれました。

この事業は、一年生の生徒達にとって、中学校に入学してからの初めての宿泊行事でもあります。生徒達は、スローガン「今日から俺らは!!」成長するぜ三日間!!」を掲げ今回の研修に臨みました。寝食を共にし、三日間生活する中で、協力し合

from 豊山中学校

い、励まし合い、言葉を掛け合いながら学年の団結力をさらに高めることができました。三日間を通して、一人一人がとても成長することができたと思います。

一年生も残りわずかとなりました。これからの期間は、二年生に向けての助走期間です。四月になれば後輩達が入学してきます。さらに成長し、頼られる上級生になってほしいと思います。



私の航空史

岡野允俊

卒業式

昭和十六年三月、私は名古屋市立桜小学校というTVドラマにでも使われそうな名前の小学校を卒業した。その辺りには呼続小学校という一校しかなく、桜地区の区画整理が進み、どんな人口が増え、呼続小学校の生徒は三千人余となり、運動場も女子の縄跳びくらいしかできず、そこで昭和十四年に桜小学校が新設され、名鉄電車から東に住んでいる生徒は桜小学校へ移った。その時僕らが第一回卒業生となった。今では立派な講堂兼体育館があるが、当時は教室の間仕切りを外して三教室を講堂にした。卒業式の前日リハーサルが行われ、皆元気に「蛍の光」と「仰げば尊し」を唄った。ところが卒業式当日は急にトーンが落ちてしまった。女子が感涙に咽び、声にならなかつたのである。純情であった。私は式後の記憶はなく、先生や友達と別れを惜しんだという記憶はない。桜小学校第七号の卒業証書と薄っぺらな卒業写真をもらっただけである。そし

て中学に進み昭和二十年三月に卒業式があったが、空襲下で校長の訓話もそこそこに防空壕に退避したそうである（私は昭和十九年夏に予科練に入っていたので中学の卒業式には出ていない）。予科練では昭和二十年三月に操縦と偵察組に分かれそれぞれの分隊に行つたがこれが予科の卒業であった。この時も式があつたかどうか記憶はない。戦後昭和二十三年に学制改革があり、新制高校ができた。このとき（君たちはあまり勉強をしていないからもう一度やり直してはどうか）という勧めもあり中学五年生に編入した。ここで最後の熊本県立中学済々学校を卒業。引き続き済々学校高等学校第一回卒業生となった。この後さらに商大英文科へ行ったがここでもどんな卒業式をやつたのか全く記憶がない。何せ中学校以来男生徒ばかりの世界で育つてきたので思い出せるような口マンもなく、気が付いたら卒業していたのである。

だから私の卒業式の思い出といえば桜小学校の時だけである。これらの同級生（女子も含めて）も年をとってしまいい歯が欠けるように減っていく。今のうちに何か記録を残しておかねばなるまい。